

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和5年9月5日(2023.9.5)

【公開番号】特開2022-41718(P2022-41718A)

【公開日】令和4年3月11日(2022.3.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-044

【出願番号】特願2020-147086(P2020-147086)

【国際特許分類】

G 06 T 5/50(2006.01)

10

G 06 T 5/00(2006.01)

B 41 J 29/393(2006.01)

B 41 J 29/42(2006.01)

【F I】

G 06 T 5/50

G 06 T 5/00 705

B 41 J 29/393105

B 41 J 29/42 F

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月28日(2023.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像処理装置であって、

30

表示手段と、

参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検査対象画像に含まれる欠陥を検出する検出手段と、

前記検出手段によって検出された欠陥と、前記欠陥の近傍に前記欠陥の種類を識別できる識別情報を前記表示手段に表示させる制御手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記欠陥は、線状欠陥又は点状欠陥であることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記識別情報は、線状欠陥を示す識別情報、又は、点状欠陥を示す識別情報であることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

40

【請求項4】

前記制御手段は、前記欠陥の座標情報を、前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項5】

画像処理装置であって、

表示手段と、

第一の欠陥を検出するための第一の検出レベルと、第二の欠陥を検出するための第二の検出レベルとを設定する設定手段と、

参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検査対象画像に

50

含まれる前記第一の欠陥と前記第二の欠陥とを検出する検出手段と、
前記第一の検出レベルに基づき前記第一の欠陥を前記表示手段に表示させ、前記第二の
検出レベルに基づき前記第二の欠陥を前記表示手段に表示させる制御手段と
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 6】

前記第一の欠陥は、線状欠陥であり、前記第二の欠陥は、点状欠陥であることを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記第一の欠陥を第一の色で表示させ、前記第二の欠陥を前記第一の色とは異なる第二の
色で表示させることを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

10

【請求項 8】

表示手段を備える画像処理装置の制御方法であって、

検出手段が、参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検
査対象画像に含まれる欠陥を検出する検出工程と、

制御手段が、前記検出工程で検出された欠陥と、前記欠陥の近傍に前記欠陥の種類を識
別できる識別情報を前記表示手段に表示させる制御工程と
を含むことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 9】

前記欠陥は、線状欠陥又は点状欠陥であることを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装
置の制御方法。

20

【請求項 10】

前記識別情報は、線状欠陥を示す識別情報、又は、点状欠陥を示す識別情報であることを
特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 11】

前記制御工程では、前記欠陥の座標情報を、前記表示手段に表示させることを特徴とする
請求項 8 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 12】

表示手段を備える画像処理装置の制御方法であって、

設定手段が、第一の欠陥を検出するための第一の検出レベルと、第二の欠陥を検出する
ための第二の検出レベルとを設定する設定工程と、

検出手段が、参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検
査対象画像に含まれる前記第一の欠陥と前記第二の欠陥とを検出する検出工程と、

制御手段が、前記第一の検出レベルに基づき前記第一の欠陥を前記表示手段に表示させ
前記第二の検出レベルに基づき前記第二の欠陥を前記表示手段に表示させる制御工程と
を含むことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

30

【請求項 13】

前記第一の欠陥は、線状欠陥であり、前記第二の欠陥は、点状欠陥であることを特徴とす
る請求項 12 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 14】

前記第一の欠陥を第一の色で表示させ、前記第二の欠陥を前記第一の色とは異なる第二の
色で表示させることを特徴とする請求項 12 に記載の画像処理装置の制御方法。

40

【請求項 15】

表示手段を備える画像処理装置の制御方法における各工程をコンピュータに実行させるた
めのプログラムであって、前記制御方法は、

検出手段が、参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検
査対象画像に含まれる欠陥を検出する検出工程と、

制御手段が、前記検出工程で検出された欠陥と、前記欠陥の近傍に前記欠陥の種類を識
別できる識別情報を前記表示手段に表示させる制御工程と
を含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 16】

50

表示手段を備える画像処理装置の制御方法における各工程をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記制御方法は、

設定手段が、第一の欠陥を検出するための第一の検出レベルと、第二の欠陥を検出するための第二の検出レベルとを設定する設定工程と、

検出手段が、参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検査対象画像に含まれる前記第一の欠陥と前記第二の欠陥とを検出する検出工程と、

制御手段が、前記第一の検出レベルに基づき前記第一の欠陥を前記表示手段に表示させ、前記第二の検出レベルに基づき前記第二の欠陥を前記表示手段に表示させる制御工程とを含むことを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

10

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、画像処理装置であって、表示手段と、参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検査対象画像に含まれる欠陥を検出する検出手段と、前記検出手段によって検出された欠陥と、前記欠陥の近傍に前記欠陥の種類を識別できる識別情報を前記表示手段に表示させる制御手段とを備えることを特徴とする。

また、本発明は、例えば、画像処理装置であって、表示手段と、第一の欠陥を検出するための第一の検出レベルと、第二の欠陥を検出するための第二の検出レベルとを設定する設定手段と、参照画像に基づき、記録シートに印刷された画像を読み取って得られた検査対象画像に含まれる前記第一の欠陥と前記第二の欠陥とを検出する検出手段と、前記第一の検出レベルに基づき前記第一の欠陥を前記表示手段に表示させ、前記第二の検出レベルに基づき前記第二の欠陥を前記表示手段に表示させる制御手段とを備えることを特徴とする

20

—

30

40

50